

## 【ミッション誌巻頭言原稿】

最善の主の時と主の方法で成就する預言の働き。

「恐れなくて、語り続けなさい。黙ってはいけない。わたしがあなたとともにいるのだ。だれもあなたを襲って、危害を加える者はない。この町には、わたしの民がたくさんいるから」と言われた。(使徒の働き 18章9、10節)



皆様の尊いお祈りとご献金を有難うございます。9月4日～9日東欧のウクライナ、スロバキアに日本からチーム8名と米国・ニューヨーク、チェコ・プラハから4名の参加を含めた総勢12名で遣わされました。ヨーロッパの働きは、旧東欧から開かれると預言が与えられた通りに開かれ、チェコをポイントした働きと共に、これからの本格的なヨーロッパ全体と終末の働きに向かって重要な意味合いを持つチームとして派遣されました。

東欧の働きは最善の主の時と主の方法でルーマニア、チェコ、ポーランド、旧東ドイツ、そして今回のウクライナ、スロバキアと次々と開かれています。今回のチーム派遣前、ウクライナから当ミッションのHPにサイバー攻撃が繰り返され、実際にウクライナ東部で紛争が起こっている危険な情勢で、場合によっては派遣中止を検討しましたが、祈り直したところ使徒の働き18章や22章からみことばが与えられ、チームは予定通り出発しました。

ウクライナでは招かれた使徒団の教会で用意された野外の伝道集会で日本の伝統的な浴衣姿のJゴスペルの賛美曲(God Is Love)と証しが大きく用いられ、多くの方々が足を止め、救われる方も起こされました。スロバキアでは使徒団の最大の教会で奉仕の道が開かれ、ウクライナ同様、浴衣姿のJゴスペルの賛美が大反響を呼び、ウクライナとスロバキアの使徒団の教会から「ぜひまた来てほしい」と要請を受けました。また、陸路での国境往復時間や路上ライブ中の天候が心配されましたが、祈り願った通りに雨天や寒さ、国境往復時間など、神さまの完全な守りの中で宣教の働きは大きく前進しました。

今回の派遣で使徒団の教会との関わりが更に拡がり、持参した「預言」の本もほぼ売り切れ、ミニストーリーでは今までにない長蛇の列ができるなど、聖霊の働きが明らかに強まっています。更に、主に正しく祈り聞き従うことを通して、主の栄光を見ていきましょう。